



越谷市の各地でよく見られる動物や植物

季節ごとの動植物の様子を比べながら探してみよう。

春

春はめがめの季節です。植物が芽を出し、花を咲かせます。虫の活動は活発になり、花の蜜を吸いに来ます。野原や空き地に行くと、色々な生き物に触れてみましょう。



元々あったカントウタンポポ。セイヨウタンポポは外国からやってきました。



ナミテントウには、地の色や模様の数が違うものがたくさんいます。さがしてみましょう。

川沿いや学校に多いソメイヨシノのほか、シダレザクラやヤマザクラなど、様々な種類があります。



～春の七草～



「セリ、ナスナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ」が春の七草とされていますが、「ゴギョウ」は今のハハコグサ、「ホトケノザ」は、「コオニタビラコ」のことです。「スズナ」はカブ、「スズシロ」は大根だと言われています。

夏

夏は太陽の季節です。植物は成長し、緑を増します。虫は色々な種類が見られるようになります。



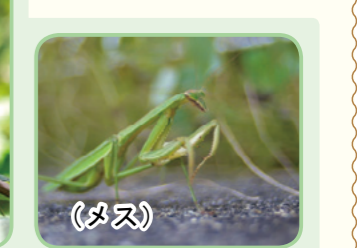
この植物の根から取れるデンプンが「くず粉」といい、お菓子に使われます。

小さな赤い実がなります。毒はありませんが、食べてもおいしくありません。



にぎやかなセミの声。ツクツクホウシやミンミンゼミなどと、鳴き声をくらべてみましょう。

～川辺では～



川辺にしげる背の高いヨシ。この草むらの中は、生き物のよすみかです。トンボやバッタ、カマキリなどの昆虫、オオヨシキリなどの鳥などたくさんの生き物が集まります。



秋

秋は実りの季節です。植物は実をつけ、仲間を増やします。虫は鳴くものが多くなります。鳥は外国に帰るものや、新たにやってくるものがあります。



イチヨウ

気温が下がってくると、葉や実も黄色に染まります。種子は「ギンナン」といって、食べられます。



カントウメグサ



エノコグサ



アキアカネ



カルガモ



エンマヨロギ

秋の実、どんな実、どこにあるかな？

校庭や公園、野原や川辺にこんな実があるか探してみましよう。



ジュズダマ



クヨ



ムカヨ (ヤマイモの実)



カラスウリ



ススキ



ヒガンバナ

～ドングリのなる木～

ドングリとは、ブナ科の仲間の果実を言います。公園などに様々な種類の木が植えられています。



スガイ



クヌギ

冬

冬は眠りの季節。植物の多くは葉を落とし、冬芽をつけ春を待ちます。虫は落ち葉の下や梢で寒い冬をじっとがまんしています。冬はカモなどの冬鳥が見られます。

～冬を越すための工夫～

花が少ない冬。公園や道に植えられたツバキやサザンカが目を楽しませてくれます。



サザンカ



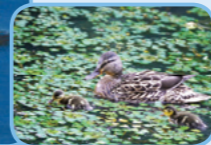
ツバキ



クリスマスローズ



マガモ



ツグミ



カマキリの卵

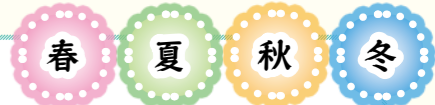


ヤゴ (トンボの幼虫)



さなぎのアゲハ

寒い冬を乗り切るために、色々な工夫をしています。寒さをさけて越谷市にやってくる鳥もいます。



一年間見られる生き物



スギ



ネズミモチ



シジュウカラ



キジバト



オナガ



越谷市と緑

今、貴重な自然が年々減っています。しかし、私たちの住んでいる越谷市では、緑を守ったり増やしたりするため、様々な努力がされています。

苗木や記念樹の配布

越谷市では、希望者に苗木を配布しています。さらに、結婚したり赤ちゃんが生まれたりしたことを記念して苗木を植えようとする人に、記念樹として無料で配布しています。公園や道路にも木を植え、緑豊かな市になるように努力しています。



屋上緑化

建物を冷やす効率を上げるために、屋上緑化に取り組んでいるところが、越谷市でも年々増えています。ベランダにプランターを置くなど、工夫すると学校や家でもできますね。



グリーンカーテン

ヒートアイランド現象防止のため、グリーンカーテンに取り組んでいる学校があります。教室の窓辺などでヘチマやゴーヤを育てて、日かげをつくと、体感温度がぐっと下がります。みなさんの学校や家でも取り組んでみてはどうでしょうか。



ビオトープ

越谷市の多くの小学校には、ビオトープがあります。ビオトープとは、木々を植えたり池をつくったりして、色々な自然の生き物がすめるようにした場所です。自然の観察やふれあいの場所として役立っています。



越谷市には、全国的にも少なくなってしまうなか見ることのできない植物や動物があります。これから先もずっと越谷市で見ることができるよう、守り育てる努力をしています。

キタミソウ

北海道の北見地方で発見された「キタミソウ」が、越谷市でも昭和25年に発見されました。発見後、たくさんの人たちの努力によって守り育てられています。

越谷市周辺では、用水の水が落ちる9～11月と3～4月に小さい花が見られます。

古利根川と元荒川でも確認されていますが、中でも葛西用水に多く自生していますので、見つけてみましょう。



コシガヤホシクサ

コシガヤホシクサは、ため池の岸辺や河原、水中に育つホシクサ科の水草の一種です。昭和13年に、市内を流れる元荒川付近で発見された新種のホシクサでしたが、現在は自生していません。市では、「コシガヤホシクサ」発祥の地・越谷での野生復帰を目指して努力しています。中央中学校、大袋東小学校で栽培が行われています。



フジバカマ

昔は土手などにたくさん咲いていましたが、河をコンクリートなどで固める工事が増えたことなどの影響で、数が少なくなり、絶滅のおそれがあると言われています。



校長先生の話



北越谷小学校では子どもたちがフジバカマを育てる活動を行っており、北越谷小学校は「フジバカマの学校」と呼ばれています。

フジバカマは秋の七草に数えられる植物です。花がうすい藤色、花の形が着物のはかまに似ていることからフジバカマと名づけられたと言われているそうです。

北越谷小学校では、ゲストティーチャーをお呼びし、子どもたちが環境に関心をもてるような学習等を進めています。

フジバカマを自然環境の中で増やしていく取り組みも進めていければと考えています。